

介護の判断基準とは

2004 年 社会福祉法人全国社会福祉協議会

1) 介護業務の特性

介護は判断することが必要な精神労働です。

介護は肉体的な労働と捉えられがちですが、本来は介護という身体的な行為を媒介とした精神的労働です。

介護職員は生活のさまざまな状況のなかで、利用者の心情、心身の状況、周辺的环境要因などに常に思いを巡らせ、瞬時に自分のとるべき行動を判断しなければなりません。

このため、考え判断するという能力が求められます。

2) 専門職の判断基準

自分のとるべき行動を決める時、あなたは何をもって判断していますか？判断基準は、「職業倫理」と「法令」です。自分の行っている業務が、「職業倫理」と「法令」に基づき成されたものであることを、常に確信できるかが専門職として問われています。

そのためには、ヘルパーとしての職業倫理を熟知して自分のものとする必要があります。

ヘルパー憲章

1982 年 日本ホームヘルパー協会

1. 私たちホームヘルパーは、常に社会福祉に携わる者として誇りをもって仕事にあたります。
1. 私たちホームヘルパーは、常に愛情と熱意をもって利用者の自立を助け、その家族の維持と発展を援助します。
1. 私たちホームヘルパーは、利用者の尊厳を守り、常に利用者の立場に立ちながら仕事にあたり、利用世帯や地域住民から信頼されるホームヘルパーになります。
1. 私たちホームヘルパーは、常にことばや服装に気をつけ笑顔を忘れず、仕事上で知り得た個人の秘密は口外しないことを約束します。
1. 私たちホームヘルパーは、常に研鑽に努め、在宅福祉の第一線にある者として、自らの資質向上に努めます。